

経営比較分析表（令和3年度決算）

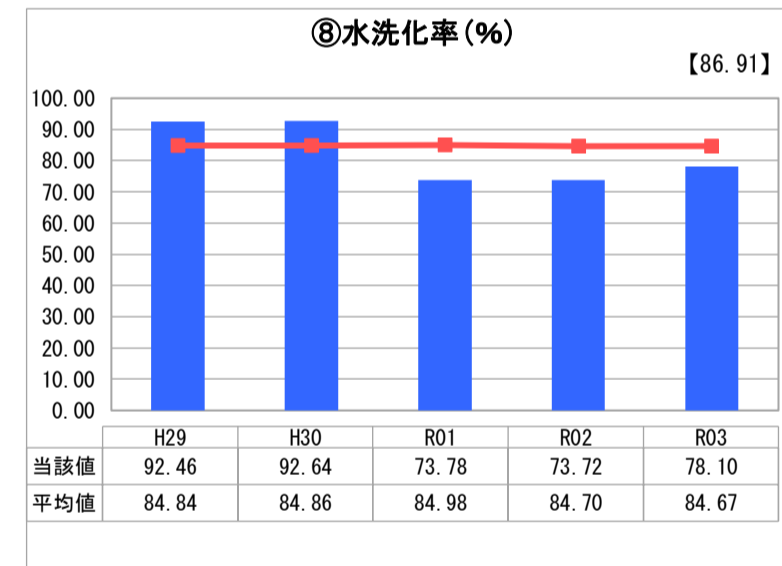
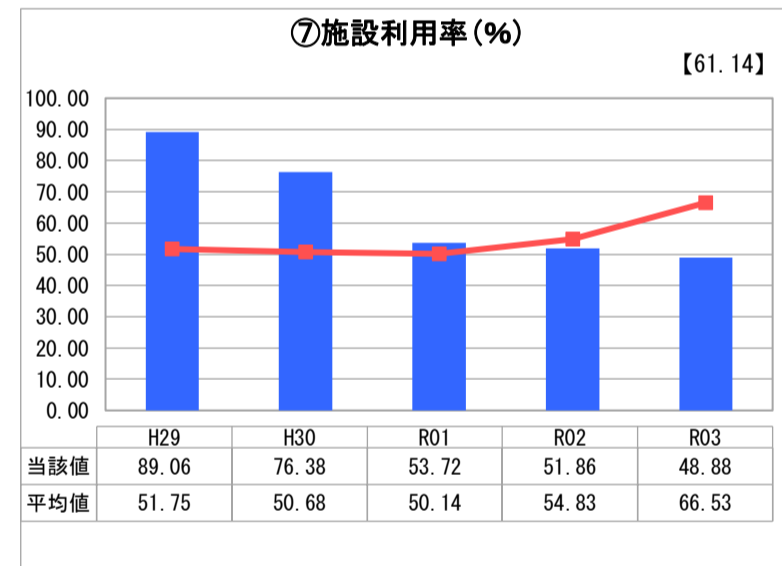
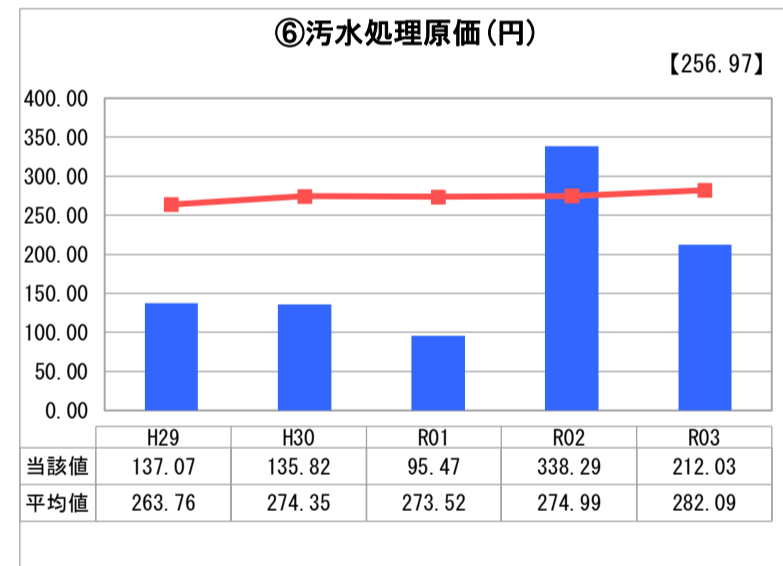
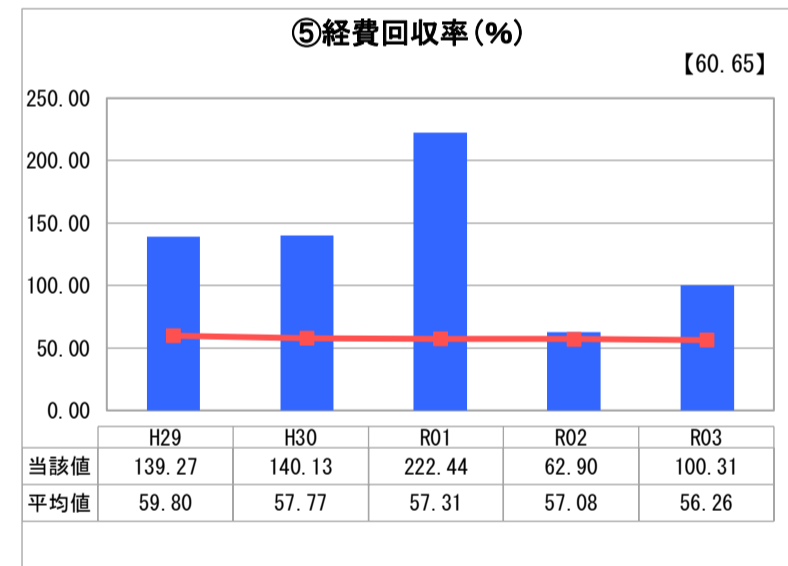
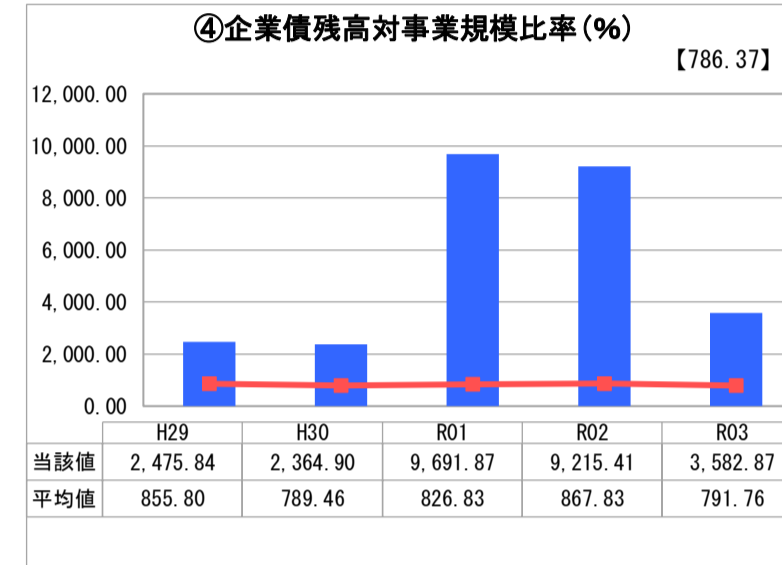
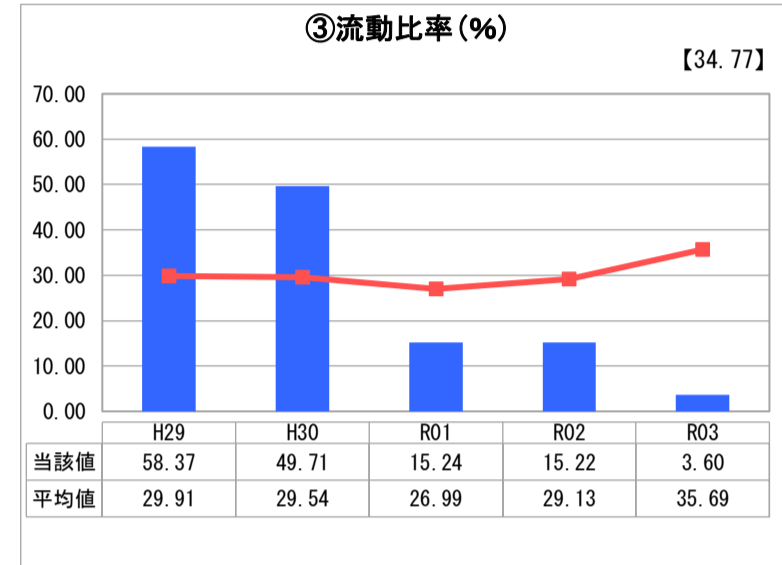
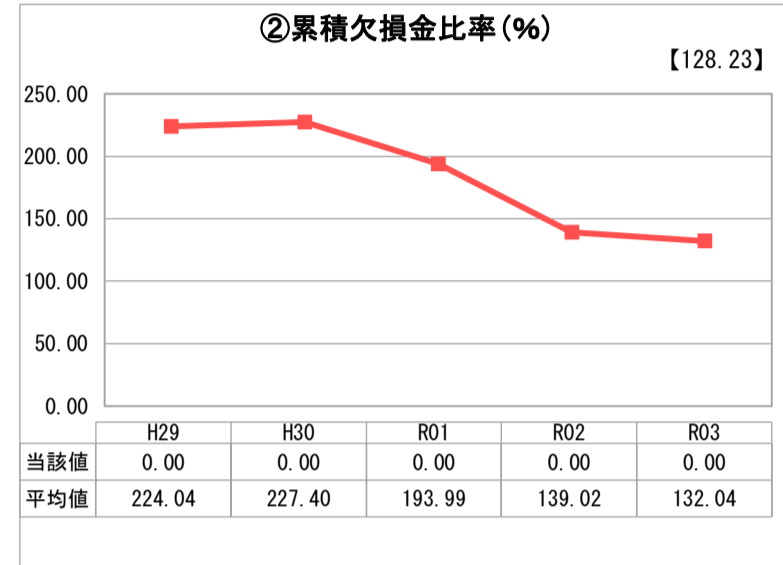
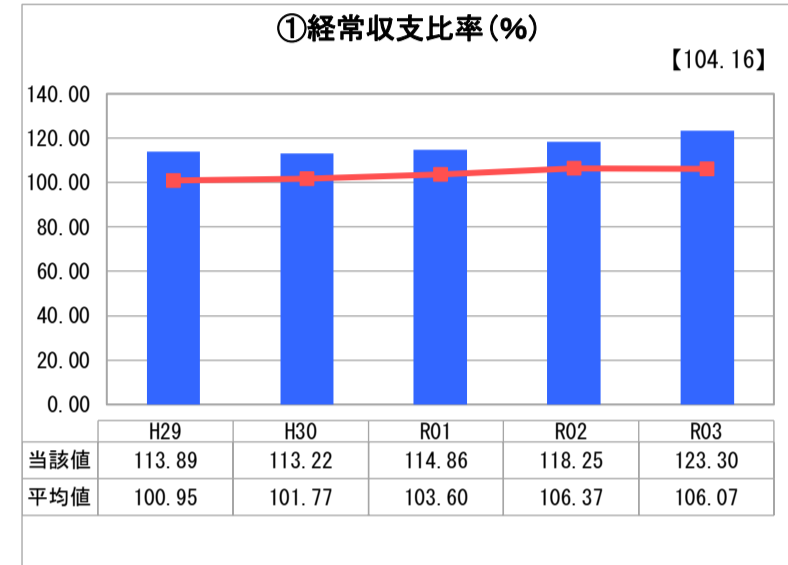
新潟県 妙高市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	64.76	2.68	99.02	3,630

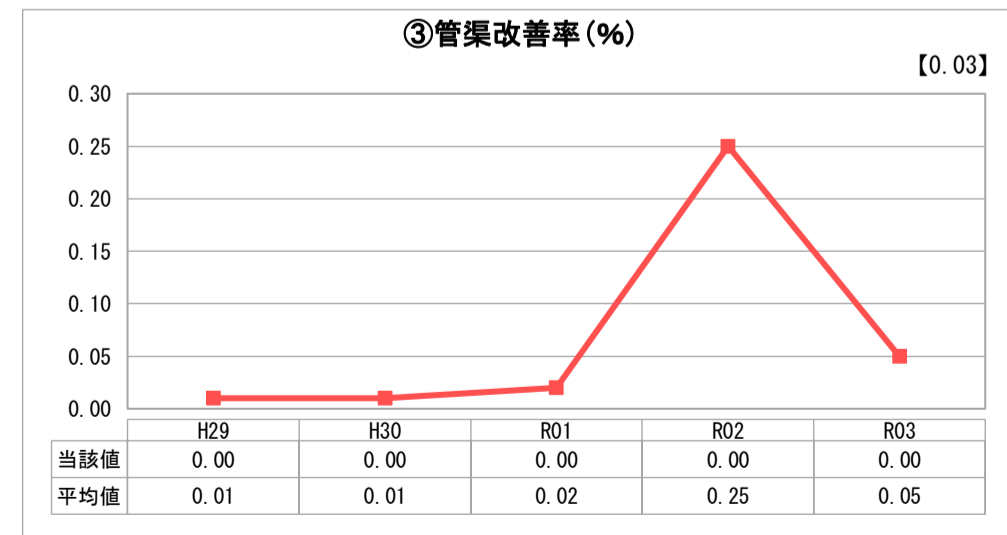
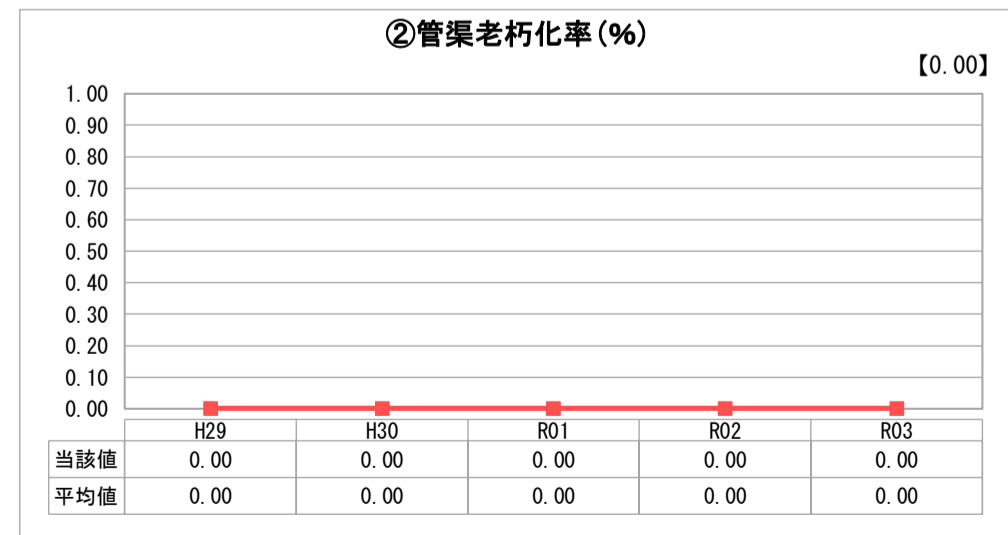
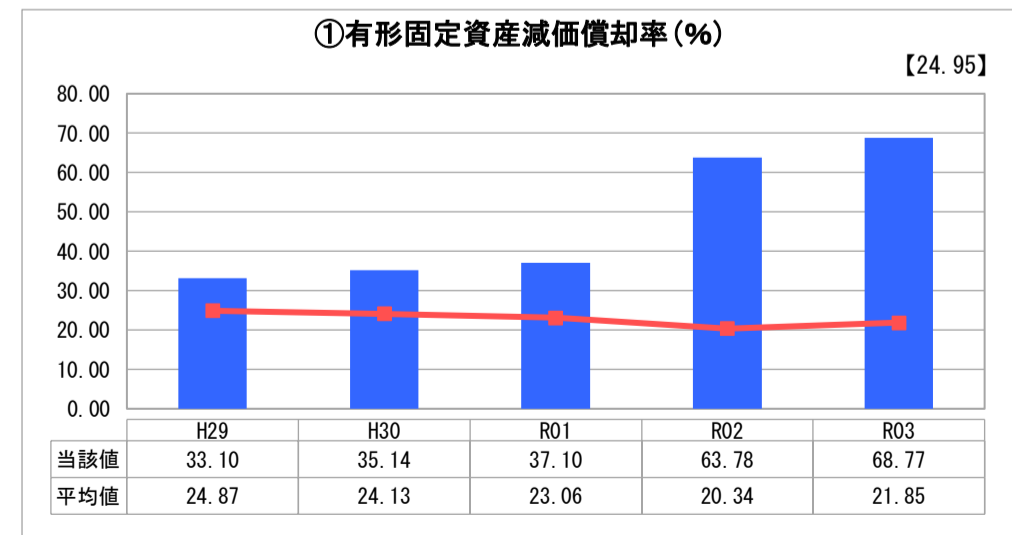
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,828	445.63	69.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
822	1.00	822.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
100%を上回る黒字収支であり、類似団体と比較しても高い水準となっている。
- ②累積欠損比率
R3年度は0%であり、現段階では健全経営である。
- ③流動比率
R1年度より新井処理区域が公共下水道と接続したことにより、事業規模が縮小し、流動比率は低下傾向にあるが、公共下水道と同一会計で事業を実施しており支払いに問題はない。
- ④企業債残高対事業規模比率
R1年度より新井処理区域が公共下水道と接続したことにより、事業規模が縮小し、比率は大幅に増加した。企業債残高は今は減少していく。
- ⑤経費回収率
類似団体より上回っており今後も健全経営を維持する。
- ⑥汚水処理原価
施設維持費など費用削減に努めており、類似団体と比較しても低くなっている。
- ⑦施設利用率
類似団体より低い数値であるが、人口減少等による汚水流入量の減少により、今後大幅な改善は厳しい状況である。
- ⑧水洗化率
類似団体との比較では低い数値であるが、更なる収入確保のため、接続率向上に向けた取り組みを強化していく。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
類似団体と比較して法定耐用年数に近い償却資産が多いためであり、施設の統廃合を実施し、適切な水準となるようにしたい。
- ②管渠老朽化率
事業開始が比較的遅く、管渠の法定耐用年数も長いいため、現時点では0%となっている。
- ③管渠改善率
管渠老朽化率が0%のため、管渠改善率についても0%となっている。

全体総括

事業環境は厳しい状況であるが、公共・特環と同一会計で実施しており事業継続に支障はない。今後も水洗化率の向上や計画的な施設の更新、下水道への接続・統廃合など維持管理費の削減を進め、健全経営に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。